

「子と親」

2017年07月27日

エフェソの信徒への手紙 6章 1節～4節 子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。「父と母を敬いなさい。」これは約束を伴う最初の掟です。「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることができる」という約束です。父親たち、子供を怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。

「著者」は次に、子と親の関りについて書いている。まず、「子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです」と、子どもは「主に結ばれている者」であることを第一に求め、そして、「両親に従いなさい」と命じている。「『父と母を敬いなさい。』これは約束を伴う最初の掟です。『そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることができる』という約束です」と、モーセの十戒から諭している。

イスラエル人の信仰と生活を規定した基本的な戒めはモーセの十戒であった。そして、十戒は神に関する戒めと人間に関する戒めが結合している。最初の四つは、①あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。②あなたはいかなる像も造ってはならない。③主の名をみだりに唱えてはならない。これは、恍惚状態で神を呼ぶ呪術的な神ではなく、言葉を介して人格的に交わる理性的な神であるという戒めである。④安息日を心に留め、これを聖別せよ。… 主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならないである。これらは神に関する戒めである。

そして、⑤あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。⑥殺してはならない。⑦姦淫してはならない。⑧盗んではならない。⑨隣人に関して偽証してはならない。⑩隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない」と、人間に関する戒めが続いている。

⑥の「殺してはならない」の戒めはあるが、死刑もある。「人を打って死なせた者は必ず死刑に処せられる（出エジプト 21:12）」や、「人の妻と姦淫する者、すなわち隣人の妻と姦淫する者は姦淫した男も女も共に必ず死刑に処せられる（レビ記 20:10）」もあり、戒めを破る者には死刑が執行される。⑤の「あなたの父母を敬え」の戒めでも、「自分の父母を呪う者は、必ず死刑に処せられる。父母を呪うことは死罪に当たる（レビ記 20:9）」と、父母を呪うことを厳しく禁じている。神に関する戒めの次に、父母を敬えという戒めがあり、殺人や姦淫の戒めより、前に置かれている。「著者」はそれを、「これは約束を伴う最初の掟です」と書いている。父母を敬うことが、殺人や姦淫の戒めより重要であると位置づけている訳である。親は子どもに対し、神への信仰を徹底して教え、また、自分を愛するように隣人への愛に生きるよう諭した。

父母を敬う戒めにより、イスラエル人は、何より大切にした信仰と倫理を、親から子へと、口伝、また文字で営々と受け継いでいった。それが、比類なき歴史と文化を書き残し、二千年に渡り、人類の宝となった、聖書を生み出す力になっていったのではないか。親から子への伝承は、私たちが真に見倣うべきことであろう。「著者」は、「父親たち、子供を怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい」と言う。「父母を敬え」という戒めを聞く時、敬われる父母であるかが問われていることは確かである。